

令和8年度知立市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、市街化区域への編入や企業誘致による優良農地の消失が進んでおり、これまで維持してきた集団転作ブロックローテーションの基盤が物理的に削られている。当市の水田は湿田が多く、作業効率が極めて悪い。その中で、農家や改善組合の多大な努力により、米・麦・大豆の整然としたローテーション体系を維持しているが、農地減少により「いつ・どこで・どれだけ経営地が減るか分からない」という不安が担い手の投資意欲を減退させている。完成されたローテーションを今後も堅持するためには、生産コストの低減と、産地交付金による確実な経営支援が不可欠である。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

既存体系の高度化：完成された米・麦・大豆の作付体系を基本とし、その中での収益性向上を図る。麦・大豆については、生産コストを徹底して削減し、手取り額の最大化を目指す。

新たな需要への対応：市内の外国人需要や実需者のニーズについては、既存のローテーションを崩さない範囲、あるいは市街化予定地等におけるスポット的な対応として検討し、地域全体の農業収益を補完する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効利用とローテーションの堅持

当市においては、農用地利用改善組合を中心とした集団転作体制により、米・麦・大豆のブロックローテーションを基本とした水田利用を推進している。今後も、定期的な水稻作付け（水張り）を含む現在の体系を維持し、水田の多面的機能を保持しながら、将来にわたって水田を有効活用していくことを原則とする。

水田利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（点検の実施）

毎年度、全ての水田の作付状況について厳格な点検を実施する。長期間水張りが行われていない圃場がないか精査し、万が一、周辺環境の変化や作付体系の固定化により、将来にわたって水稻作が行われる見込みがない圃場が確認された場合には、所有者や耕作者と十分な協議を行う。

その上で、地域全体のブロックローテーションへの影響を考慮しつつ、実態に即した畑地化支援事業の活用や、適切な管理方法への誘導など、個別の状況に応じた柔軟な対応を検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

湿田の多い当市において、農業の基幹作物に位置付ける。

地域の需要に応じて地産・地消及び安心・安全な米作りに取り組む。

施肥の見直し及び農薬使用の低減により、農地に負担の少ない環境にやさしい米作りに取り組む。直播栽培の拡大や品種別の団地化や畦抜きを推進し、労働時間の削減や経営規模の拡大により生産コストを削減する。

(2) 備蓄米

不耕起V型溝直播栽培等低コスト栽培に取り組む。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物として位置づけ生産の拡大を図る。

イ 米粉用米 該当なし

ウ 新市場開拓用米 該当なし

エ WCS用稲 該当なし

オ 加工用米 該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

本地域では、水田を活用する作物として、麦・大豆が多くを占めている。

麦・大豆の品質や収量は、主に自然要因から影響を受けるため、優良な品種を順次導入し、品質向上や収量増量に結びつける。

麦については、産地交付金を活用して、土壌改良剤及び肥効調整型肥料の施用を推進し、生産性向上に取り組む。また、ブロックローテーションを継続し、作業効率を上げ、高性能機械の導入により低コスト化を実現する。湿田に対しては、弾丸暗渠の取り組みを推進する。

大豆については、奨励品種の中から作付時期の異なる優良な品種を選び、適期に播種・収穫を行う。集団化・ブロックローテーションを堅持し、土づくり・排水対策の強化により立枯病や湿害等を防ぎ収穫量の安定を図る。

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

該当なし

(7) 高収益作物

地域の改善組合の理解を得ながら産地戦略を策定し、高収益作物への計画的な取り組みをはかる。

外国人が多く住む特徴を活かし、産地交付金を活用して外国人の需要のある作物栽培も試してみる。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	169.6		169.6		167	
備蓄米	—		—		4.0	
飼料用米	0.7		—		3.1	
米粉用米	—		—		—	
新市場開拓用米	—		—		—	
WCS用稲	—		—		—	
加工用米	—		—		3.6	
麦	107.2		106.8		113.5	
大豆	97.7	97.7	97.8	97.8	96.5	96.5
飼料作物	—		—		—	
・子実用とうもろこし	—		—		—	
そば	—		—		—	
なたね	—		—		—	
地力増進作物	—		—		—	
高収益作物	1.26		2.28		2.38	
・野菜	1.2		1.77		2.30	
・花き・花木	0.06		0.51		0.08	
・果樹	—		—		—	
・その他の高収益作物	—		—		—	
その他	—		—		—	
・〇〇	—		—		—	
畑地化	—		—		—	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標		
				前年度（実績）	目標値
1	小麦（基幹作）	麦の収量の増量、生産性向上のための取り組みに対する助成	小麦 単収	（7年度）568kg/10a	（8年度）511kg/10a
2	大豆（二毛作）	大豆の二毛作への助成	委託率	（7年度）91.2%	（8年度）85.0%
3	小麦（基幹作）	土づくりへの助成	単収の向上	（7年度）568kg/10a	（8年度）514kg/10a
4	野菜（基幹作） ※対象作物一覧のうち「野菜類」に掲げる品目	高収益作物（野菜）への助成	取組面積	（7年度） 1.2ha	（8年度） 2.3ha
5	花き・花木（基幹作）（花き・花木については、対象作物一覧のうち「非食用作物」に掲げる作物）	地域振興作物（花き・花木等）への助成	花き・花木取組面積	（7年度）6.0a	（8年度）7.6a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：知立市地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	麦の収量の増量、生産性向上のための 取り組みに対する助成	1	9,000	小麦(基幹作)	・販売要件：実需者等へ出荷・販売していること等 ・技術要件：地域の小麦栽培層に準じた栽培管理の実践
2	大豆の二毛作への助成	2	13,000	大豆(二毛作)	・交付対象作物：麦後に作付ける二毛作大豆 ・販売要件：需要者等へ出荷・販売していること等
3	土づくりへの助成	1	9,000	小麦(基幹作)	・販売要件：需要者等へ出荷・販売していること等 ・技術要件：地域の栽培層に準じて土壌改良材及び肥効調節型肥料を作付水田に施用
4	高収益作物(野菜)への助成	1	20,000	野菜(基幹作) ※対象作物一覧のうち「野菜類」に掲げる品目	・販売要件：生産物を出荷・販売していること (加工したものを含む。但し保健所の営業許可を要する。) ・技術要件：地域の栽培層に準じた栽培管理の実践
5	地域振興作物(花き・花木等)への助成	1	20,000	花き・花木(基幹作)(花き・花木については、 対象作物一覧のうち「非食用作物」に掲げる 作物)	・販売要件：生産物を出荷・販売していること ・技術要件：通常の肥培管理を行っていること ・その他：永年性作物の助成は定植後3年までとする。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧

分類		作物名
食用作物	野菜類	マコモタケ
		サツマイモ
		サトイモ
		スイカ
		空心菜
		ネギ
		ジャガイモ
		ヤーコン
		うり
		白菜
		キャッサバ
		レタス
		キクイモ
		ズッキーニ
		ダイコン
非食用作物	花き・花木	ホオズキ
		ケイトウ
		スターチス